外貨両替機の無料委託設置

（商業施設・ホテル様向けご提案）

外貨両替機
AE810-DS型

日本シーディーアール株式会社
営業部

【メーカー直営による「外貨両替機無料委託設置導入」のおすすめ】

謹啓 コロナ収束・インバウンド回復にともない、ただいま全国各地で訪日外国人が急増しています。報道によれば8月10日をもって中国から日本への団体旅行が解禁になるとのことで、インバウンドの復活が加速する展開を迎えています。

例えば、東京・渋谷の商業施設に設置した外貨両替機では、今年3月以降に取扱い量がコロナ禍前の1.5倍に達しています。その原因は、何と言っても両替所不足です。コロナ禍の影響もあって昨年までに多くの金融機関、両替商が市場撤退しました。

さらに統計データでは、訪日外国人の外貨両替は、約半数が銀行ATMでのキャッシングによるもので、最近ATMの設置台数が減少していることも、両替所不足に拍車をかける要因となっています。両替所不足は邦人の海外渡航用外貨の調達にも影響し、最近では外貨両替機に貼ってある故障時の連絡先シールに、外貨購入の電話予約が入る珍現象が発生しています。訪日外国人が増大しても、外貨両替ができなければ消費の活性化、経済効果の向上が見込めません。

そこで弊社では、商業施設やホテルの皆様に「外貨両替機の無料委託設置」導入をおすすめしています。商業施設の免税カウンターやホテルのロビーに両替機があれば、施設における省力化、省スペース化はもちろんのこと、さらに利用客の利便性が高まると同時に、館内消費が活性化され、エリア全体における経済効果が生まれます。

弊社は、1992（平成4)年に開業し、紙幣鑑定機、外貨両替機等のインバウンド関連機材を開発・販売してまいりました。弊社が推奨する外貨両替機の委託設置はメーカー直営、かつ資金補充、コール対応、障害対応（定期点検含む）を一括管理できることから、受け付けた電話のたらい回しがありません。 メーカー直営ですので、ローコスト化がはかれ、資金の補充や緊急時にも迅速な対応が可能です。

弊社推奨機種には、「高額取引監視機能」等のマネロン対策機能を搭載し、ユーザー施設のコンプライアンスにも寄与します。外貨両替機の設置は、施設における先進のイメージ、治安のよさ、顧客満足度を示すバロメーターにもなっています。外貨両替に関する今後の展望として、2025年の大阪万博開催や2029年にはIR統合リゾート（カジノ）の開業が決定したことから、さらに訪日外国人が増大し、両替機の稼働率が高まるものと思われます。

就きましては、施設ご担当者様におかれましては、本書をご覧いただき、宜しければ関係部署にも回覧と情報共有をいただき、弊社提案をご検討いただければ幸いです。なお、すでに他社両替機を導入済みの施設様におかれては、セカンドオピニオンとして、弊社提案をご一読いただければと存じます。謹白

2023年9月吉日
日本シーディーアール株式会社
代表取締役　遠藤智彦

1.外置貨両替に関する諸問題とその解決策

窓口の省力化

コロナ禍で、施設の職員が減っています。外貨両替は為替管理が必要なうえ、現金突合と真偽鑑定等の専門的な事務必要です。外部委託化することで煩雑な業務から開放されます。

マネロン対策

2019年のFATF対日査察において、日本はマネロン対策について、「重点フォローアップ国」に認定されました。そのため、財務省は両替商にマネロン対策の強化を求めています。

円貨くずし両替

外貨両替機を導入したものの、利用客のなかには万券を千券に替えるくずし両替でフロントに持ち込まれることが多く、省力化の効果が感じられないと言われます。

為替差損

昨年10月、円安が145円/$までに。外貨両替において急激な為替変動は、為替差損の要因になる場合があります。外貨両替機委託設置では為替差損は基本的に運営会社が吸収しています。

緊急防災情報

気候変動で豪雨や台風等激甚災害が増えていますが、外国人が取り残される問題が生じています。両替機のデジタルサイネージは、各種緊急防災情報の外国語表示が可能です。

両替所不足

コロナ禍で、昨年までに郵便局は全面撤退、金融機関も多くが規模縮小、市中両替商の多くが転廃業したことから、インバウンド回復と同時に、全国で両替商不足が始まる可能性があります。

ＣＤＲの外貨両替機で問題解決

マネロン対策

200万円を超える取引には本人確認が必要です。「高額取引監視機能」、「任意金額強制停止機能」を搭載しマネロン対策を強化しています。

為替差損回避（外部委託で）

フロント業務の泣き所だった為替変動の心配がなくなります。前日のフロント会計と締め後処理で当日レートで円転する経理部との誤差解消。

両替所不足

インバウンド市場におけるパイ（為替差益）の割り当てが増えることになります。外貨両替利用客で館内消費が活性化されると思われます。

窓口の省力化

いまや宿泊施設、商業施設とも装置ビジネス化することで省力化をはたしています。さらに外部委託化で著しいコストダウンが見込まれます。

円貨くずし両替

弊社外貨両替機では、万券→千券10枚、千券→百円10枚のくずし両替機能を搭載しました。フロント業務の省力化強化をはかってまいります。

緊急防災情報

AE810-DS型なら、外国人向けに防災情報を表示するほか、様々な館内情報、観光情報を表示することができます。館内消費を活性化します。

2.設置場所・環境により４種類の提案が可能

AE910型売買双方向仕様外貨両替機(パック販売仕様)

1）機器仕様　売買双方向両替
2）設置形態　ロビー設置
3）売り通貨　～max 8通貨
4）買い通貨　～max12通貨

完全自動の売買双方向仕様で、買いについては任意の12通貨対応で、売りについては8通貨のパック売り仕様です。釣り銭は萬・阡・百・拾・壱円の5金種(容量各1000枚)です。外貨パックは専用容器に封入したうえで機械に装填します。レート配信やニアエンド検知はリモート対応、デジタルサイネージの搭載が可能です。

AE830型売買双方向仕様外貨両替機(ばら売り仕様)

1）機器仕様　売買双方向両替
2）設置形態　ロビー設置
3）売り通貨　～max 8通貨(金種)
4）買い通貨　～max12通貨

完全自動の売買双方向仕様で空港ロビーやターミナル拠点でのご利用に向いています。買いについては任意の12通貨対応で、売りについては、8、4、2通貨(または金種)のばら売り仕様です。釣り銭は萬・阡・百・拾・壱円の5金種(容量各1000枚)です。例えば10と100ドル、10ユーロと100ユーロのような低・高額の組合せ設定も8金種4通貨において可能です。レート配信やニアエンド検知はリモート対応、オプション設定でデジタルサイネージ（広告やクーポン発行等）の搭載も可能です。

AE810型買取り専用外貨両替機（買取り専門機）

1）機器仕様　買取り専用機
2）設置形態　ロビー設置
3）売り通貨　なし
4）買い通貨　～max12通貨

完全自動の外貨買取り専用仕様で空港ロビーやインバウンド拠点でのご利用に向いています。レート配信やニアエンド検知はリモート対応が可能です。釣り銭は萬・阡・百・拾・壱円の5金種(容量各1000枚)です。オプション設定でデジタルサイネージ（広告やクーポン発行等）の搭載も可能です。

AE700型買取り専用外貨入金機（買取り専門機）

1）機器仕様　外貨入金機
2）設置形態　カウンター設置
3）釣銭機能　なし
4）売り通貨　なし
5）買い通貨　～max12通貨
（ただし宅配回収）

卓上型です。取扱量が少なく、狭小のスペースに向いています。外貨を買取りその円貨は設置施設が支払います。一時的に立て替えしていただき、施設に手数料（為替差益から）を支払って外貨を買取ります。買取り代金は振込みとし、外貨は宅配回収します。外客動員が見込まれる有人対応が可能な施設への設置に適していると思われます。レート配信やニアエンド検知はリモート対応が可能です。

3.導入事例（設置施設風景写真）

外貨両替機は、設置環境によって様々な外装カスタマイズ(ダイノック施工)が可能です。写真は設置事例ですが、デジタルサイネージを搭載した事例で、エリアの観光情報や設置施設における館内情報（防災情報等）、さらにはQRコードを利用したクーポンの発行等、情報系端末として様々なニーズに対応が可能です。弊社ホームページにスマホへのダウンロードが可能な両替機mapを掲載予定です（近日中）。

東京銀座某施設

横浜某ホテル

東京港区某ホテル

京都某ホテル

大阪某ホテル

墨田区某商業施設

東京都大田区某ホテル

神戸某ホテル

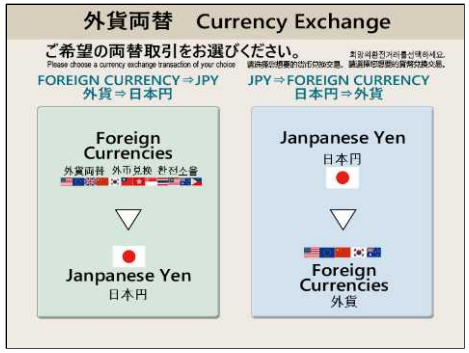
4.ピクト表示で簡単操作

①操作は簡単、タッチパネルから始まります。

売買双方向仕様では、待ち受け画面が「外貨→円貨」「円貨→外貨」のいずれかを希望のアイコンをタップしてお選びいただきます。

売買とも設定通貨のレートボード(買い＝12通貨、売り＝8通貨)が表示されます。

4ヶ国語表記ですが、必要により、４カ国語による各種の音声ガイダンスも可能です。



②通貨の選択画面です。円・円両替アプリ対応。

タッチパネル画面に当日の各通貨レートが表示されます。

操作ガイダンスは「英語」「韓国語」「中国語」「日本語」の４カ国語表記です。

通貨(フラッグ)またはスタートキーを押していただくと次の入金（紙幣挿入）画面にすすみます。

円・円両替アプリは、1万円→千円×10枚、千円→×百円×10枚の両替アプリでフロントの手間を省きます。

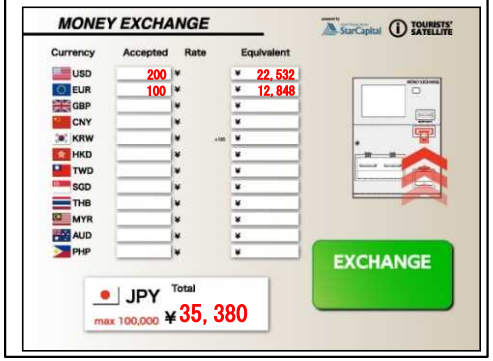
③挿入後にエクスチェンジキーを押していただきます。

紙幣を挿入するたびに、外貨及び円換算合計額が表示されます。

本機では複数の通貨を連続挿入し、まとめて円換算することができます。通貨ごとに外貨及び円貨が表示されます。

希望円貨に達した場合は入金確定の意味でExchangeキーを押していただきます。

※紙幣挿入は１枚ずつです。

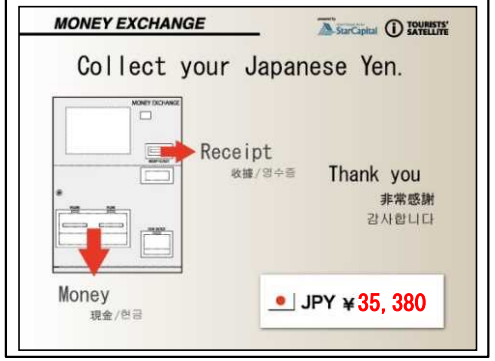


④万、千、100、10、1円の５金種で支払います。

Exchangeキーを押すと紙幣及び硬貨ユニットが作動し、万券・千券、次に硬貨百.拾・壱円(同時)が順に払い出されます。

同時にレシートが印字され、排出されます。レシートは強制発行と任意発行いずれかに設定します。

もし紙幣を受け取らない場合はブザー音が鳴り、取り忘れを警告します。なお取引の上限は１０万円(未満円換算額)です。



5.外貨両替機委託設置契約実行フロー

ここでは、外貨両替機の運行管理に関する全体図（図1参照）をお示しします。本契約はメーカー直営ならではの機械代金、機内資金、作業不要の外貨両替機委託設置契約です。機械代金及び保守料金は負担なし、施設様には為替差益から場所代をお支払いします。「外貨両替機委託設置契約」の実行フローについて、全体のながれをご覧ください。チェックポイントは、コメント欄に解説文を補記いたしました。

【対象物件】

買取り専用機外貨両替機AE810-DS型を想定（12通貨対応）。

（別紙パンフレット参照）

AE810-DS型
（外観）

図：1（構成図）

【実行フロー】（図1：参照）

①CDR：施設様と外貨両替機の委託設置契約を締結。
②施設様：館内における両替機の設置場所を確保し、設置。
③CDR：機内資金（100～500万円）を装填し、稼働開始。
④CDR：外貨回収と円転（機内資金として装填を繰り返す）
⑤CDR：施設に外貨両替精算書を発行、為替差益を振込。
⑥CDR：財務局監査、日銀報告等監督官庁への行政対応。

【コメント】

①委託設置契約
委託設置に関する読み合わせ説明を実施。期間は5年(60ヶ月)になります。自動更新契約で延長が可能（更新料なし）。

②機械代金（定価320万円）と機内資金
無料委託設置契約では基本的に機械代金の施設負担はありません。保守料金も無料です。釣り銭となる機内資金についてはCDRが対応します。

③施設への家賃と為替差益（月額益金）
発生する為替差益から毎月の場所代をお支払いします（次頁参照）。

④電気代と回線料金
両替機の電気代は月額約1,000円で、施設様にご負担いただきます。但し、回線料金（月額1,500円）はCDRが負担します。

⑤為替差益について
両替機の稼働で得られる為替差益は、6.0～7.5円です。この中から施設様場所代、機械代金、保守人件費を捻出します。配分比率は契約書に記載します。

⑥施設の計画停電対応
電気設備の法定点検の際は両替機の電源切断を行います。両替機の保守ではないため、施設担当者様において電源切断を行っていただけます。

⑦行政対応
財務局監査や日銀報告はCDRにて対応します。

6.委託設置の形態と管理会社について。

外貨両替機の無料委託設置では、機械代金及び保守費用は原則として管理会社が負担します。設置場所により稼働率が異なるわけですが、稼働率が高まり一定の両替手数料が得られれば管理会社が黒字に転じ、稼働率が下がれば不採算となります。そこで、設置後6～12ヶ月の間取扱い量の推移をみて、稼働率が低い場合は、弊社及び施設において協力して稼働率アップをはかってまいります。

■設置形態

１）無料委託設置

設置に関する（本体購入、保守）費用、資金の補充・回収等ランニング（回線料金、修理費用）費用は基本的に管理会社負担となります。但し、過去両替実績のある施設においては24ヶ月の実績表をお示しいただきます。新規の場合は来場者あるいは宿泊者数を参考に個別打ち合わせいたします。

２）設定両替手数料（レート）

ご利用客からいただく両替手数料は、取扱い量により米ドル＝8.0～8.5円/１＄、ユーロ＝9.0～9.５円/１Euro、その他通貨はメガバンクのレートを参考に設定します。日々のレート配信は弊社事務センターからリモート配信いたします。

３）バックマージン(下限設定なし。ただし管理会社の採算配慮)

管理会社が施設に対し、当月全外貨米ドル換算し､取扱い量により0.5円/$から1.7円（為替差益の20%以内）までをお支払いします。月単位で末締め翌月末日にお支払いいたします（別途個別契約書参照）。バックマージンの表記は、契約書では按分為替差益のように表現します（税務対策上）。

４）障害発生時の一次対応(予備資金の設定)

両替取引中に電源エラーその他何らかの障害が発生し、不払いが生じた場合の対応として、機内に保管した予備資金から施設ご担当者において、利用客にお支払いいただく対応をお願いしています。先を急ぐ利用客への対応となりますので、ご協力いただければ幸いです。警備会社による駆けつけ警備で対応することも可能ですが、コストについては、別途相談となります。

■管理(運営)会社

１）メーカーである日本ＣＤＲが直接対応

本提案は、メーカー直営を基本テーマにしています。弊社が資金の補充・回収及び障害対応、レート配信、ソフトウェアのバージョンアップまで、１社にて一貫して迅速かつ総合的に対応します（一部エリアは代理店の技術員が対応）。

２）コール対応

平日及び土日、祝祭日の９時～１８時半において電話によるコール対応を実施しています。夜間は技術員の携帯に直接連絡が可能です。年末年始（5日間）は休みとなりますが、緊急問い合わせは24時間対応が可能です。

7.設定通貨、外装、電気･通信費用について

3）管理会社の採算について(撤去せず継続する方法)

弊社では外貨両替の取扱い量が減っても（震災や社会事象等）、撤去せず委託設置が継続できる方法を提案することが可能です。詳しくは別途提案させていただきますが、安心かつ安定してご利用いただけるよう配慮しています。

■取り扱い通貨について

1）設定通貨

基本的にはUSD,EUR,CNY,KRW,GBP,HKD,TWD,SGD,THB,MYR,AUD,PHPの12通貨(ただし７パターンの通貨辞書ファイルから選択が可能です)とし、通貨のトレンドが変われば新たなファイルを作成し、両替稼働率を向上させます。

2）新ドル対応等、ソフトウェアのバージョンアップ

新ドルや新ユーロ等紙幣改訂時にはソフトウェアのバージョンアップを実施します。これはリモート配信はできないため管理会社のエンジニアがフィールド対応いたします。

3）円貨→円貨両替アプリ(万券→千券10枚、千券→百円×10枚)

「せっかく自動化したのに・・」、外貨両替機で円貨→円貨両替が可能です。フロント窓口の手間を回避、省力化を推進します。

■その他

1）装填資金の提供

取扱い量が月額１万ドル以下の場合は、施設様において、装填資金をご負担いただく場合があります。弊社が機械代金（市価350万円）、回線料金、資金の補充・回収やレート配信等の保守業務（人件費）を負担するため荷が重いことから、取扱い量に応じた装填資金のご負担をお願いしています。詳細は別途お知らせします。協力のほど宜しくお願いいたします。

2）外装カスタマイズ（ダイノック施工）

筐体色はオフホワイトです。環境に合わせて木目調等外装をカスタマイズされる場合は特注仕様として費用(参考例7～10万円)をご負担いただくことになります。ただし委託設置終了後の現状復帰（剥離工事）及び撤去費用は管理会社が負担いたします。

3）電気代と通信費用

本機の電気代月額約1,200円は施設でご負担をいただき、回線費用は月額約2,500円は管理会社が負担します。配電盤等の電源工事費用は施設負担となります。

4）施設の協力

センサーエラー及び通信エラーの解除、紙幣詰まりの除去、利用客の誤操作による軽微なトラブル、さらに施設の計画停電にともなう電源切断等のオペレーションについては施設スタッフに協力をいただきたいと考えています。くべくオペレーター研修を実施します。

8.運行管理(保守)ネットワーク全体図

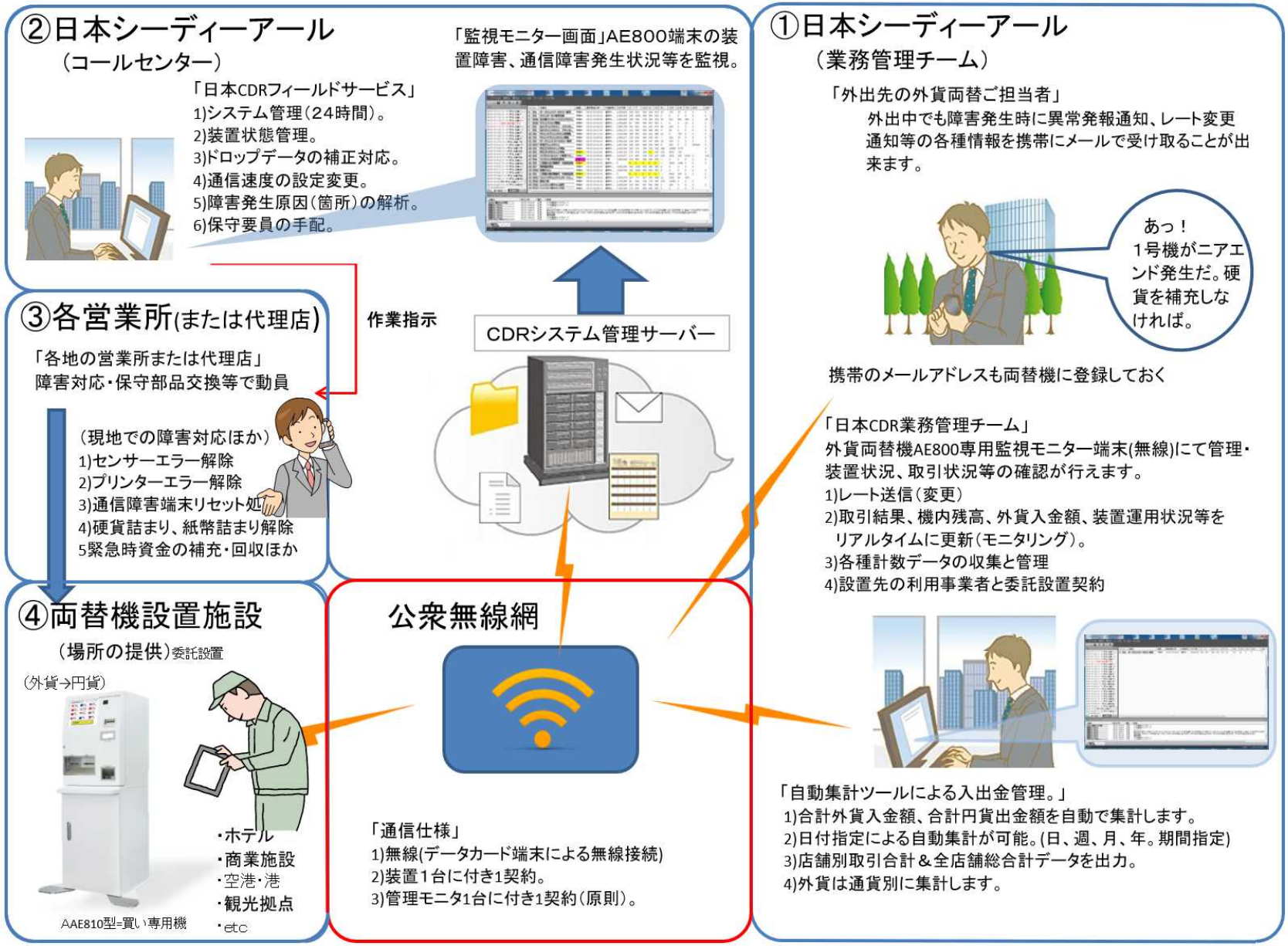
弊社コールセンターでは、オンライン監視モニターで両替機の稼働状況について、モニタリングを行っています。稼働中に問題が発生すると、両替機が自己診断すると同時にサーバーにデータ送信し、次のような連携プレイでトラブルシューティングを実施します。

①業務管理チーム
レート配信や取引の集計を行います。月次実績表を作成し、日銀レポート等各種集計資料を作成します。

②コールセンター
ネットワーク監視を行っています。両替機から異常発報があれば、コールセンターから現地代理店に修理を手配します。

③修理代理店
適切な部品を現場に持参し、交換修理を実施します。

④オンサイト対応
資金補充と外貨回収、定期点検・調整、部品交換等に対応します。施設において駆け付け警備についてはエリア内の警備会社と契約していただく必要があります。



9.安全対策・マネロン対策セミナー

外貨両替業務は、外為自由化（1997年）以前は、いわゆる「認可両替商」として財務省（当時は大蔵省）への届出と、税関の講習が必要な認可業務でした。97年の金融ビッグバン（大規模金融制度改革）で、全面自由化され、自動外貨両替機の開発やその使用が可能になりました。現在、両替商講習は「一般社団法人全国両替商防犯連絡会(JESC)」が、全国の金融機関及び両替商向けに、毎年定期講習を実施しています。外貨両替機については、「高額取引監視機能」等のマネロン対策機能の搭載が求められています。ここではJESCにおける活動内容についてお知らせします。ちなみに、JESCは監督官庁及び業界の要請により、弊社がその事務局を努めています。

全国両替商防犯連絡会JESC (Japan Exchangers Safety Council)は、外貨両替商を営む金融機関、両替商、ホテル、免税施設等を会員に、両替商向け安全対策・マネロン対策セミナー及び外貨両替に関する様々な意見交換会を開催しています。

出席者は全国の金融機関、外貨両替商、観光事業者、宿泊施設、免税商業施設他の皆様です。活動内容は次のようです。

1. マネロン対策セミナー

財務省国際局から行使をお招きし、外貨両替におけるマネロン対策について、講習会を開催しています。外貨両替機では「高額取引監視機能」と「任意金額強制停止機能」(外国PEPs対応）が採択されました。

2. 両替商窓口の安全対策セミナー

窓口業務としては、偽造外国通貨の見破り方、外貨両替詐欺への対策として、鑑定講習や両替詐欺の実例を紹介しています。会員からの通報として、防犯カメラの映像公開（情報共有）を行っています。

3. 両替商の育成セミナー

両替商を開業したい方（個人・法人）向けに、窓口業務としての外貨両替の実務や紙幣鑑定機をメインにした外貨両替システム（鑑定機とレートボード、売買管理ソフト）の導入サポートを行っています。

4. 外貨両替機委託設置ビジネスの起業セミナー

副業として、外貨両替機の委託設置ビジネスで両替商を起業されたい向きに、そのビジネスモデルを紹介します。感染防止と場所確保の観点からもおすすめです。

JESC 一般社団法人全国両替商防犯連絡会
Japan Exchangers Safety Council

第一回セミナー開催報告

外貨両替窓口における「安全対策・マネロン対策セミナー」

2018年10月26日、A-PLACE新橋駅前において第1回目のJESCセミナー開催されました。

第二回セミナー開催報告

第2回目の両替商セミナーは2019年8月2日に開催されました。今年10月に行われるFATF対日査察までに対応すべき課題の絞り込みを行います。

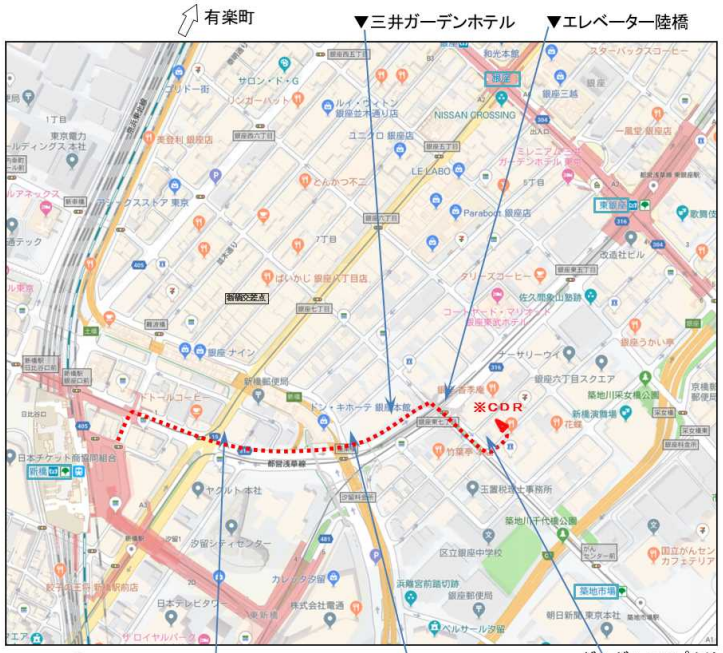
おわりに（会社案内）

ここまで本書をご覧いただき、ありがとうございます。外貨は通貨数も多く偽造券の含有率が高い特殊な分野です。紙幣鑑定機ベンダーが国内に少ない理由は、改訂が多いうえに偽造対策が難しく、市場規模が小さいため大手メーカーが市場参入をはたせないためです。弊社ではこの分野に関する専門企業であり、いつの間にか古参企業となりました。

キャッシュレス化が進んでいますが、訪日外国人の外貨両替は小口現金の必要性によるもので、キャッシュレス化の対象になりません。したがって、外貨両替機の必要性は、長期間維持されると思われます。

弊社提案に関する詳しい説明については下記にお問い合わせ下さい。紙幣鑑定機、外貨両替機の実機をショールームに常設していますので気軽にお立ち寄り下さい。Webミーティングでも対応しています。

日本シーディーアール(株)
ＦＰ推進事業部
TEL:03-3541-1951FAX:03-3541-1952
E-mail:info@cdrjapan.co.jp
〒104-0061東京都中央区銀座7-15-8銀座堀ビル4F



（JR新橋駅からの最短コース例）

【最寄り駅のお知らせ】
①地下鉄大江戸線築地市場駅から徒歩3分
②地下鉄日比谷線東銀座駅から徒歩4分
③JR新橋駅(山の手、京浜東北、東海道、総武快速)から銀座（歌舞伎座）方面に、徒歩8分。
④地下鉄銀座線銀座駅から築地市場方面に、徒歩8分
※日本CDR：東京都中央区銀座7-15-8 銀座堀ビル2F・4F
TEL=03-3541-1951

【JR新橋駅からの道順】
▼JR新橋駅（汐留口または銀座口）から新橋交差点方面へ
（宮越屋珈琲が見える）。
▼新橋交差点から蓬莱橋交差点方面へ
（ドン・キホーテ、三井ガーデンホテルが見える）。
▼銀座東七丁目交差点のエレベーター陸橋をわたる。
（昭和通りを横断し朝日新聞社方向にすすむ）。
▼中央市場通りを進み、小諸そばを左折する。
（銀座堀ビル4F: 青いタイルのビルです）。

【エレベーター付き横断陸橋】
JR新橋駅、メトロ銀座駅から徒歩でお越しの方には銀座東七丁目交差点のエレベーター陸橋のご利用をおすすめします。

下記事業所は銀座堀ビル4Fに常設されています。
【偽造通貨対策研究所文書鑑定室】
【全国両替商防犯連絡会JESC事務局】
【CDRサービス㈱本社】

代表取締役　遠藤智彦

ショールームの常設展示内容

手差小型紙幣鑑定機
PD100型

紙幣鑑定機
NC6500型

紙幣鑑定機
NC8000型

大型紙幣鑑定分類番号記録機
NC9000型

セルフ端末（券売機）
Cashier-01

外貨両替機
AE810-DS型